PRISM

官民研究開発投資拡大プログラム
Public/Private R&D Investment Strategic Expansion PrograM

民間研究開発投資の誘発を目指して

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）とは

「官民研究開発投資拡大プログラム」（Public/Private R&D Investment Strategic Expansion PrograM：PRISM（プリズム））は、「総合科学技術・イノベーション会議」（Council for Science, Technology and Innovation：CSTI（システィ））の司令塔機能を強化するために、平成30年度に創設された。

統合イノベーション戦略や統合イノベーション戦略推進会議が策定する各種分野別戦略等を踏まえ、CSTIが各府省庁の施策を誘導し、事業の加速等を行うことにより、官民の研究開発投資の拡大や社会実装の促進を行っている。

創設の背景

日本の経済再生と持続的経済成長を実現するには、科学技術イノベーションが不可欠である。CSTIでは、内閣総理大臣、科学技術政策担当大臣のリーダーシップの下、我が国全体の科学技術を俯瞰する立場から、総合的・基本的な科学技術・イノベーション制作の企画立案および総合調整を進めてきた。

そうした中、平成28 年12 月に、CSTIと経済財政諮問会議が合同で取りまとめた「科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブ」に基づき、600 兆円経済の実現に向けた最大のエンジンである科学技術イノベーションの創出に向け、官民の研究開発投資の拡大等を目指して、PRISMが創設されることになった。

現在、SIP、「ムーンショット型研究開発」とともに、統合イノベーション戦略において、戦略的な研究開発として推進されている。

総合科学技術・イノベーション会議の司令塔機能を発揮した戦略的研究開発の推進

1 SIP 戦略的イノベーション創造プログラム Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

総合科学技術・イノベーション会議が府省・分野の枠を超えて自ら予算配分して、基礎研究から出口（実用化・事業化）までを見据えた取組を推進。

2 PRISM 官民研究開発投資拡大プログラム Public/Private R&D Investment Strategic Expansion PrograM

平成30年度に創設。高い民間研究開発投資誘発効果が見込まれる「研究開発投資ターゲット領域」に各省庁の研究開発施策を誘導し、官民の研究開発投資の拡大、財政支出の効率化等を目指す。

PRISMの特徴

- ▶ イノベーション創出につながる官民研究開発投資の拡大。
- ▶ 民間資金・寄付金など外部資金を拡大できる経営基盤の形成による、大学等に対する企業の投資額の増大。
- ▶ 新SBIR制度の加速と、スタートアップ・エコシステム拠点の形成による、スタートアップへの投資額の増大。
- ▶ 標準活用の加速化による社会課題解決や国際市場獲得。

3 MOONSHOT RESEARCH & DEVELOPMENT PROGRAM

我が国発の破壊的イノベーションの創出を目指し、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発（ムーンショット）を推進。野心的な目標設定の下、世界中から英知を結集し、失敗も許容しながら革新的な研究成果を発掘・育成。